

認知症サポーター養成講座

正しい知識を身に付け 支援の輪を

認知症は、誰でもなる可能性のある病気です。周囲の人が、認知症の人の障がいを理解し、その人ができない部分を補えば、自分でできることも増え、安心して暮らしていくことができます。偏見をなくし、認知症の人や家族を支援する人を増やしていくことが重要です。

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな

障がいが起こり、生活に支障が出ている状態をいいます。

患者数は462万人を超え、65歳以上の人口に占める割合は約15%になるといわれています。また、その数は今後も増加すると見込まれています。

認知症になると、記憶障がいや理解・判断力が低下するといった症状が表れます。そのほかにも、時間・場所・親しい人が分からなくなる、言葉が出てこなくなるなどの症状もあります。

認知症サポーターとは

認知症サポーターは、認知症サポーター養成講座を通じて認知症

を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人やその家族を見守る応援者です。友人や家族に学んだことを伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。また、地域や職場で、どんな支援ができるのか一人一人が考えていくことも大切です。

認知症サポーター養成講座

市では、平成18年度から認知症サポーター養成講座を開催しています。講座では、映像を交えて、認知症の病気や認知症の人への対応の仕方などを学びます。多

くの市民の皆さんが受講し、1、800人を超える認知症サポーターが誕生しています。「認知症の人を応援します」という意思を示すオレンジリングが配布されます。

出張での開催も

受講者からは「認知症の症状別の接し方を学べて良かった。身内に認知症の人がいるので、講座で学んだことを生かしたい」「誰でも認知症になる可能性があることを学び、明日はわが身という気持ちになった。認知症の初期症状を忘れずに、自分や家族などにその症状が出た場合には早期治療に生かしたい」など、講座を受講して良かったとの感想が聞けます。

市では、今後も認知症サポーターによる「支援の輪」を広げ、認知症になっても安心して暮らし続けることができるまちをつくりていきます。

開催日は、「広報なりた」に掲載します。講座を受講した人には

※くわしくは同課(☎20・1537)へ。

インタビュー 講師に聞きました

井上 幸子さん
(キャラバン・メイト)



認知症サポーター養成講座が認知症を知るきっかけになってくれればと思います。認知症は病気です。そして、一言で認知症といっても、アルツハイマー型認知症、血管性認知症などとさまざまな種類があります。種類が違えば、症状や接し方も違います。多くの人が認知症に対してこのようなことを正しく理解しておくことが、認知症を発症しても安心して暮らせる社会につながると思います。



分かりやすい講座が魅力